

うるしはら直子

市政だより

NAO空通信

NO. 06



※この市政だよりの本文はユニバーサルデザインフォントを使用しております。

2022年度予算 次世代へと引き継ぐ「礎」

「アクションプラン2019」の総仕上げとともに、感染症対策、社会経済活動の回復などポストコロナや次期まちづくり戦略ビジョンを見据えた「新たな成長」を推進。
一般会計の当初予算額は1兆1,616億円となり、2021年度と比較して476億円、4.3%の増となりました。

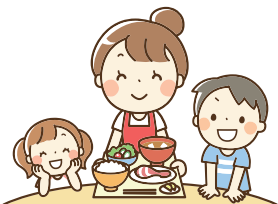
感染症の影響から市民を守り、社会経済活動の力強い回復を支えるまちづくり

- ◆各種施設等感染症対策関連（当初19億4,700万円、補正4億6,000万円）
各施設における予防体制強化のための感染症対策備品の購入等
- ◆新型コロナウイルス感染症対策支援（当初2億5,000万円）
- ◆公共交通需要喚起支援（当初17億4,800万円）
 - 路線バス・路面電車の運賃無料化（10日間程度×年2回）
 - タクシー事業者による需要喚起策に対する経費補助

子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり

- ◆子どもの居場所づくり支援 **拡充**（当初600万円）

実現 子どもの居場所づくりを担う団体への補助を拡充し、子ども食堂における活動や訪問等による子どもの見守り体制を強化



★ヤングケアラー支援推進 **新規**（当初600万円）

- ◆複合的福祉課題等を抱える市民への支援促進 **新規**（当初1,000万円）

福祉に関する困りごとを複合的に抱える市民に必要な支援が行き届くよう、モデル区2区に支援調整を担う組織を新設し、組織横断的に支援

- ◆除雪（当初215億7,800万円）

ICTを活用し、除雪車の1人乗り化や車両運行記録の効率化を進める等、持続可能な雪対策に向け、冬のみちづくりプラン2018に基づく各種取り組みを推進

魅力と活力にあふれ、新しい時代に向かって成長を続けるまちづくり

- ◆IT・DX推進関連 **拡充**（当初1億1,000万円）

若手エンジニアの発掘・育成プログラムやDX普及促進セミナーを実施し、IT人材の育成・市内企業への定着や中小企業のデジタル化を推進

- ◆再開発事業による都市整備の推進（当初72億4,200万円）
- ◆水素エネルギー利活用事業 **拡充**（当初17億7,100万円）



★ヤングケアラーの早期支援を開始!

実現 潜在化しがちなヤングケアラーを早期発見し、支援に繋げるための関係職員の研修やピアサポートによる相談支援等を実施

粘り強く求めてきた支援が、初めて予算化されました! 今後も支援を本格化させるよう求めていきます。



市制施行100年から未来へ

安心して暮らせる街に!

災害級ともいわれる今冬の積雪と、新型コロナウイルスの変異種による感染拡大は、札幌市民の生活を直撃し、経済活動にも影響を及ぼしました。特に除雪体制や排雪の遅れに関しては多くの市民の皆様から、ご意見等が私のもとへも届いています。

今回の検証をしっかりと行い、改めて将来的にも持続可能な除排雪体制を構築していかななくてはならないと考えます。

今年は市制施行から100年。1972年の冬季オリンピック、政令市への移行を機に197万都市へと発展してきた札幌市も大きな転換期を迎えようとしています。

道路や施設インフラの更新、自然災害や感染症への対策、脱炭素社会の実現、少子高齢社会対策など、様々な課題への対応が求められる中ですが、新たな次の100年に向けて札幌市民が安心して暮らせる街づくり、次代につなぐ土台づくりを、皆様とともに進めてまいりたいと思います。ご意見等がありましたらお寄せください。

札幌市議会議員 うるしはら直子

2022年度の所属委員会

- 総務委員会(まちづくりや環境、危機管理などについて審議します)
- 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会
- 冬季オリンピック・パラリンピック招致調査特別委員会

うるしはら直子 政務事務所

〒003-0832 札幌市白石区北郷2条2丁目2-12
 TEL 011-799-1771 FAX 011-799-1715
 E-mail : info@urushihara-naoko.main.jp
 URL : http://urushihara-naoko.main.jp

ホームページ



市政に問う!

2022年予算特別委員会

質問と要望



● 今冬の除排雪

災害レベルの積雪に対応するため、排雪場所を確保するための危機管理体制を早急に整備することを強く要望しました。



新たな除雪方法の試行は、全市で従来の除雪方法から変更されたとの市民の誤解が強い。内容や試行地域的的確な市民周知を行うべき。

一部の地域で実施した結果を検証するとともに、周知方法や実施方法を改善する。

札幌市

● 除排雪などを担う建設産業の人材確保



札幌市の除排雪体制を維持・改善するため、除排雪事業者の人員不足解消に向けた建設人材の育成、ICTを活用した除排雪を両輪で進めるべき。市としてどう支援するのか。

建設人材育成支援事業を次年度拡充し、担い手確保、PRなどの支援を強化する。人材育成とICTの活用をこれまで以上に検討し進める。

札幌市

● さっぽろ給付金付き再就職支援



コロナの影響で求人倍率が更に上昇している。感染症の影響により離職等を余儀なくされた求職者を対象とした給付金でどのように雇用を支えるのか。

給付金付き再就職支援を継続し、研修等に、職場見学や合同企業説明会等を組み合わせたコースを新たに設定するなど、更に雇用のマッチングにつなげる。

札幌市

子育て中の求職者に対し、託児サービス利用料が支援されます!



住宅の省エネ化やバリアフリー化への需要に対応するため、住宅エコリフォーム補助制度をどのように発展させていくのか。

カーボンニュートラルの実現や誰もが暮らしやすい住環境の形成に向け、社会情勢の変化に即したより良い制度となるよう検討する。

札幌市

● このほか ……「地元中小企業の受注機会の確保」「交通局の広告(付帯収入)」「地下鉄駅構内の案内標識」「市立札幌病院の診療報酬、職員の勤務環境」などについて質問しました。

トピック

- 2022年度に整備される白石区の公園
北郷かつら公園・平和通公園・本通公園・白球公園・杉の子公園・河岸公園